Panasonic®

取扱説明書 工事説明付き

厨房形キャビネットファン

品番 FY-18TCF3 FY-20TCF3 FY-23TCS3
FY-25TCF3 FY-25TCX3 FY-28TCX3

もくじ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2〜4ページ）を必ずお読みください。
- 取扱説明書は、大切に保管してください。
- この取扱説明書は最終需要家様まで確実にお渡しください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

点検・お手入れの際は、電源（ブレーカー）を切る

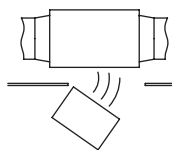
感電やけがをすることがあります。

堅固な基礎に固定する

取り付けが不十分な場合、予期せぬ事故の原因になります。

接続や組み付けのボルトなどはしっかりしめる

しめつけが不十分な場合、落下やはずれによりけがの原因になります。

部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

可燃性ガスが漏れたときは、窓を開けて換気する

ファンを運転すると、電気接点の火花により爆発火災の原因になることがあります。

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触させない

漏電した場合、火災の原因となります。
（電気設備技術基準第182条）

使用を終了した製品は放置せずに撤去する

落下により、けがをするおそれがあります。

定められた人以外は、操作、点検をしない

禁　止

予期せぬ事故の原因になります。

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない

禁　止

内部でファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

本体の吸込口・吹出口を開放して使用しない

禁　止

運転時、人や物が吸い込まれけがの原因になります。また乱流などにより、予期せぬ事故の原因になります。

⚠ 警告

ガス漏れのときはファンのスイッチを入れたり切ったりしない

禁　止

スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。

電源スイッチをぬれ手で切／入しない

ぬれ手禁止

感電のおそれがあります。

本体各部に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない

禁　止

ショートや感電のおそれがあります。

搬入、搬出に際しては、重心および重量に注意しておこなう

吊り上げ、持ち上げ、保持が不完全な場合は落下し、けがの原因になります。

爆発性の粉じん及びガスの発生する場所には取り付けない

禁　止

爆発・火災の原因になります。

ガス給沸器や給湯器等の燃焼器具用排気ダクトには取り付けない

禁　止

火災の原因になります。

⚠ 注意

異常発生時（音、振動、臭い）は直ちに運転を停止し、修理を依頼する

予期せぬ事故の原因になります。

点検時には、手袋やヘルメットなどの保護具を着用する

けがややけどなどの原因になります。

電気、配管、設備工事については、専門業者に依頼して実施する

工事に不備があると予期せぬ事故の原因になります。

電気工事は、電気設備技術基準および内線規程に従い施工する

配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。

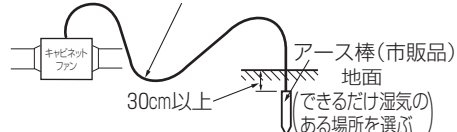
D種接地工事をおこなう

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。（異電圧仕様の機種の設置工事は、各電源電圧に応じた接地工事をおこなってください。）

アース線接続

■アース工事は、次のいずれかの方法でおこなってください。
　他の方法でおこなうと接地が十分でない場合があります。

●コンセントのアース端子にアース線を接続する場合

●アース棒を使用する場合

■ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令で禁止されています。）
■設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アースの取り付けをおこなってください。

本体をねじったり、ダクトなど過度の荷重が本体にかからないよう施工する

故障や落下して、けがの原因になります。

天吊りの場合、吊りボルトは規定の本数、ボルト径を使用する

足らない場合、落下しけがの原因になります。

ドレンは確実に排水する

水漏れ、油漏れ事故の原因になります。

改造、修理、分解を勝手にしない

禁　止

予期せぬ事故の原因になります。

定格以外の電圧を印加しない

禁　止

火災、感電事故の原因になります。

定められた環境以外では使用しない（P12参照）

禁　止

羽根の破損やモーターの焼損などにより、予期せぬ事故の原因になります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 注意

吹出口に目をむけない（特に起動時）

禁　止

ごみなどが飛んできて目に入ることがあります。

吹出口、吸込口付近に障害物を置かない

禁　止

飛ばされたり、吸い込まれたりして、けがの原因になります。

炎があたるおそれのある場所には取り付けない

禁　止

プラスチック部品が変形したり、着火して火災となるおそれがあります。

定格範囲内で運転する

羽根の破損やモーターの焼損などにより、予期せぬ事故の原因になります。

ダクト内の風によるファンの回転に注意する

電源が切れていても、回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

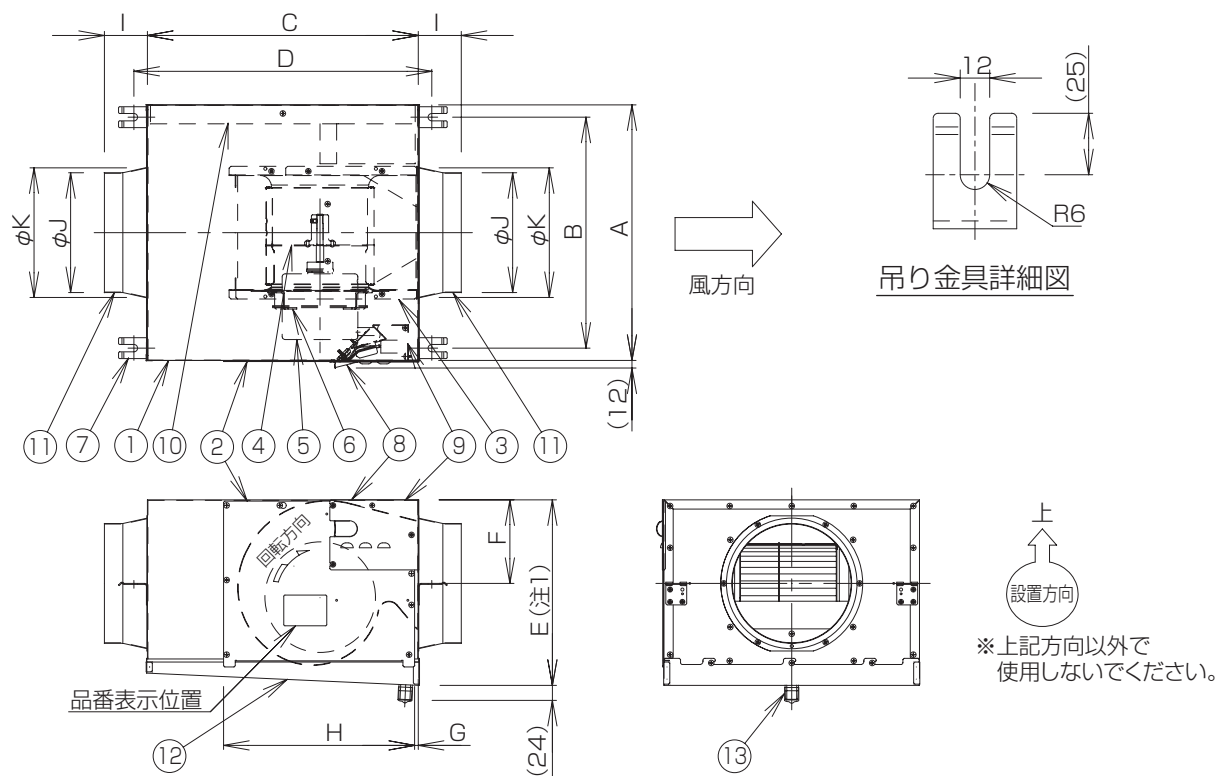
点検時などに、本体からはずした点検口のふたや部品を落とさないよう注意する

落下して、けがの原因になることがあります。

お手入れの際は、ホコリの落下と足場に注意する

けがのおそれがあります。

各部の名前と寸法（品番表示位置）

厨房形キャビネットファン

注1：ドレンパイプやドレンパン取りはずし用のスペースとして、
本体高さ寸法Eに対し、下方に100mmのスペースを設けてください。

単位（mm）

品　番	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	接続ダクト寸法
FY-18TCF3	376	336	397	441	284	127	2	293	70	195	211	φ200
FY-20TCF3	416	376	441	485	302	136	6	311	70	195	211	φ200
FY-23TCS3	468	424	469	513	328	149	6	337	70	195	211	φ200
FY-25TCF3	494	450	505	549	364	167	6	373	85	240	255	φ250
FY-25TCX3	494	450	505	549	364	167	6	373	85	240	255	φ250
FY-28TCX3	554	510	557	601	372	171	6	381	85	240	255	φ250

番号	部　品　名	数量	分　類	材　質
1	パネル類	1セット	ステンレス	ステンレス鋼板
2	点検パネル	1	ステンレス	ステンレス鋼板
3	ファンケーシング	1	鉄	亜鉛メッキ鋼板＋塗装
4	羽根車	1	鉄＋アルミニウム	亜鉛メッキ鋼板、主板アルミ（撥油性塗装）
5	モーター	1	複合部品	——
6	モーターサポート	1	鉄	亜鉛メッキ鋼板＋塗装
7	吊り金具	4	鉄	亜鉛メッキ鋼板
8	端子カバー	1	ステンレス	ステンレス鋼板
9	端子台ユニット	1	複合部品	——
10	吸音材	1セット	複合部品	グラスウール＋ガラスクロス
11	アダプター	2	鉄	亜鉛メッキ鋼板＋塗装
12	ドレンパン	1	ステンレス	ステンレス鋼板
13	ドレン抜き	1	ステンレス	ステンレス（ねじサイズR1/2）

本品を廃却の際は、上記の材質を目安にしてリサイクル推進に努めてください。

保守・点検

長期間安全にご使用いただく為に下記の事を守ってください。

1. 定期点検はお買い上げの販売店または工事店へご相談し依頼してください。
   相談先がなくお困りの場合は「パナソニック修理ご相談窓口」（P8ページ）へご連絡ください。
2. モーターの推定寿命時間は約1万時間ですが、使用状況によりモーターの寿命は異なりますので異常音などが確認されましたら、モーター交換を行ってください。

ご注意

定期点検を行うことによって、運転の効率が維持され無駄なエネルギー消費がなくなるのみならず機器の寿命を長くすることができます。
（点検周期は使用条件がきびしい場合、下表より短くしてください）

■ 日常点検（お客様へ）

初期状態と比べ著しい騒音・振動の発生がないか、運転状態の確認をしてください。（聴覚・触感など）

■ 定期点検（サービス会社様へ）

記号の説明
○：定期点検〔2回/年（6ヶ月ごと）〕
◆：定期交換部品の取替え

下表を参考に点検を行ってください。

	部品名	経過年数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	点検内容	判定基準（目安）	保全内容	備考
1	送風機全体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	機器更新	・騒音、振動の確認（聴覚・触感など）	・著しい騒音、振動の発生なきこと	・基礎ボルト、吊りボルトの増し締め ・補修困難な場合は製品交換	
																	・取り付けネジ類のゆるみ確認（工具による）	・ゆるみなきこと	・工具による増し締め	
2	ファンケーシング モーターサポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・塗装の剥がれ部はタッチアップ補修 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	
																	・騒音、振動の確認（聴覚・触感など）	・異常音、異常振動のなきこと ・羽根車との接触なきこと	・各取り付けネジ部の増し締め ・接触による損傷がある場合は部品交換	
3	羽根車	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・塗装の剥がれ部はタッチアップ補修 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	
																	・回転状態の確認（目視、手回し）	・異常音のなきこと ・ファンケーシングとの接触なきこと	・接触による損傷がある場合は部品交換	
																	・羽根車止めネジのゆるみ確認（工具による）	・ゆるみなきこと	・工具による増し締め ・羽根車止めネジの締め付け方法はP7ページを参照ください	
4	モーター	○	○	◆	○	○	◆	○	○	◆	○	○	◆	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・塗装の剥がれ部はタッチアップ補修 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	定期交換部品
																	・騒音、振動の確認（聴覚・触感など）	・異常音、異常振動のなきこと	・異常時は部品交換	
5	パネル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	
6	吸音材	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・ガラスクロスの剥がれ、破れ、付着物のなきこと	・異常時は部品交換	
																	・外れ、剥がれの確認（目視点検）	・外れ、剥がれなきこと	・再度取り付け固定 ・異常時は部品交換	
7	端子台	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・端子、ネジ類のゆるみ確認（工具による）	・ゆるみなきこと	・工具による増し締め	三相異電圧機種は端子台形状が異なります。（丸形圧着端子）
8	ドレンパン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	
																	・ドレン抜きのつまり確認（目視点検）	・つまりなきこと	・つまり清掃 ・異常時は部品交換	

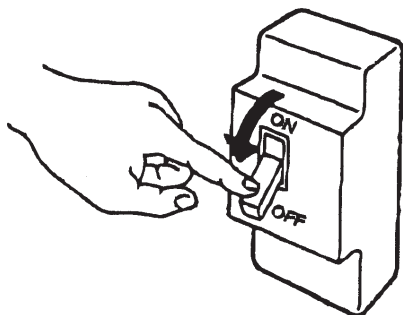
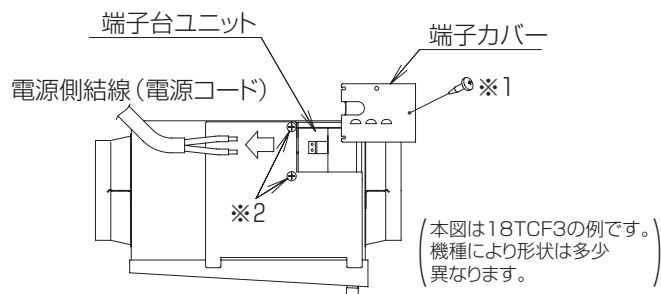
備考　上表は一般的な目安を示し、使用状況、設置条件等により変化することがあります。
運転時間の目安は、1日10時間、年間300日、3000時間としています。

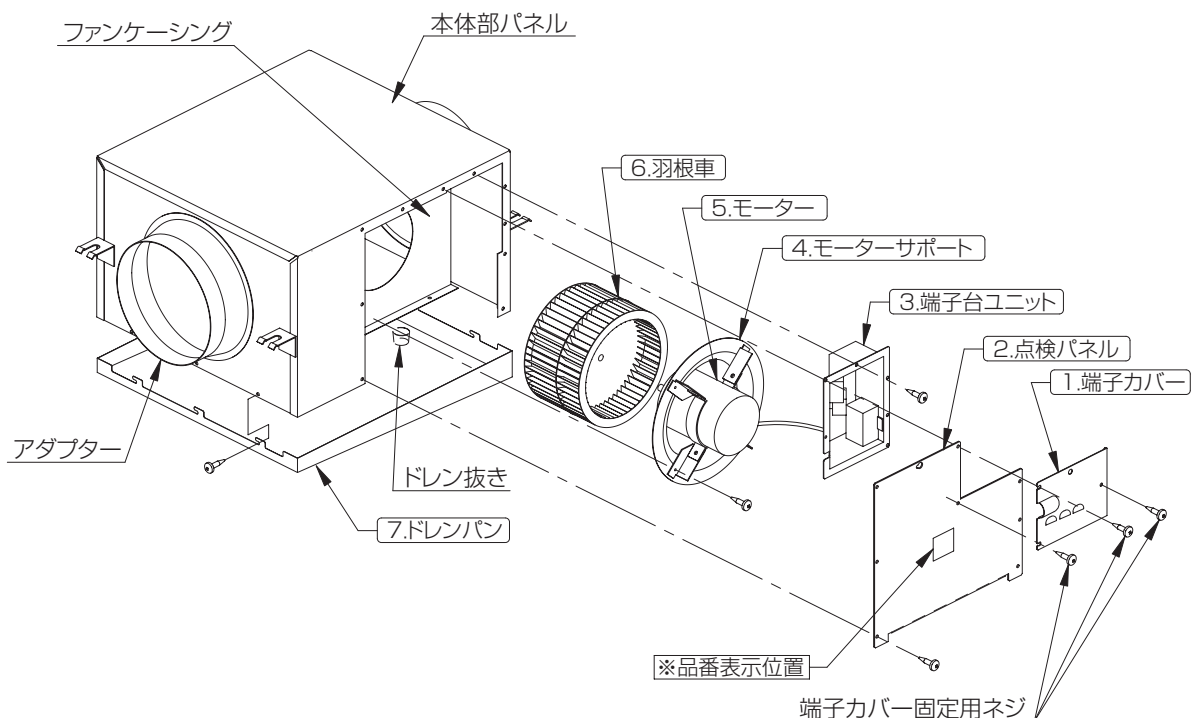
■ 清掃方法（各部品は分解要領に基づいて分解してください）

●羽根車を中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して油汚れを落とし、その後きれいな水で洗いよく乾かしてください。
●ファンケーシング、モーターサポート、モーター、パネル、ドレンパン等に付着した油汚れは、中性洗剤を浸した布でふき取り乾いた布でからぶきしてください。（酸性、アルカリ性などの洗剤は使用しないでください）
●油煙の発生が多い場合は上表より短くしてください。

■ 分解要領

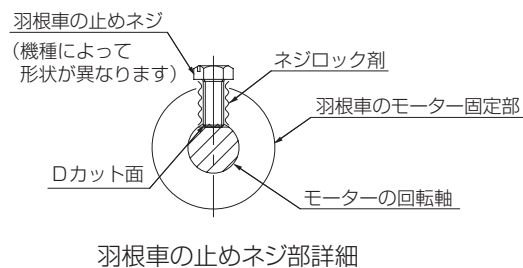
モーター交換など、分解が必要な場合には、次の手順に従って分解をしてください。
（安全上、必ず、手袋をご使用ください。）

1. まず、電源（ブレーカー）を切って

2. 電源側結線をはずして

① 端子カバーのネジ（※1）1ヵ所をはずす。
② 端子カバーのネジ（※2）2ヵ所をゆるめ、端子カバーをはずす。
③ 端子台から電源側結線（電源コード）をはずす。

3. 各部品に分解して
（順番にそって!!）

ご注意

- 分解時にネジ等をドレンパン内に落とさないようご注意ください。
- ドレンパンは特に重量に注意して、落下させないよう作業を行なってください。
- 羽根車の止めネジを締め付ける時は、ネジ穴および止めネジに付着しているネジロック剤を除去したあと、止めネジのネジ部に市販のネジロック剤を塗布し、止めネジとモーター回転軸のDカット面とが垂直であることをご確認の上、締め付けトルク588N·cm（±50N·cm）で締め付けてください。（締め付け不足・過多は故障の原因となります。）
- 組み立ての際は、モーターのリード線をコードクリップ等にて確実に固定し、羽根車に巻き込まれないようにしてください。

羽根車の止めネジ部詳細

保守・点検

アフターサービス　よくお読みください

●修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店または工事店にお申し付けください。

相談先がなくお困りの場合は…
・修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
・その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証

厨房形キャビネットファンの保証期間は納入の日から1年といたします。保証期間中正常な使用にもかかわらず、当社の設計、加工等の不備により故障または異常が発生した場合は、故障または異常の部位を無償で修理致します。ただし客先での改造、仕様変更、保管中の破損、故障または異常に起因する各種損害などについてはその責を負いません。
なお、厨房形キャビネットファンは厨房の換気用に設計しております。使用状況および用途が異なる場合は保証できない場合がありますのでご注意ください。

下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。
1.換気用途以外で使用した場合の不具合
2.お客様が適切な使用、維持管理を行なわなかったことに起因する不具合
3.当社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4.建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の不具合
5.海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6.ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
7.火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
8.消耗部品の消耗に起因する不具合
9.指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて

・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
・ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。）

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの厨房形キャビネットファンの補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しております。
注）補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

故障と思われましたら下表に従って点検し、なお異常のあるときは、必ず電源を切って注文先にご相談ください。
そのとき、下記項目を確認の上ご連絡ください。
1.品番・製造番号（銘板に記載）
2.風量・静圧
3.使用状態（設置状況、使用期間、1日あたりの運転時間など）
4.異常状態（いつごろからか、またどんなときに発生するのか）
5.取扱気体（一般換気用か、清浄空気か、また用途は）

●修理料金の仕組み:
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

原因＼症状	風量不足	騒音過大	振動過大	モーター過熱	運転しない	対策
基礎が弱い	○	○	○			基礎補修
据付け不良	○	○	○			据付調整
定格と異なった電圧による運転	○	○	○	○	○	電源確認
回転体と静止部の接触	○	○	○	○	○	点検・調整
異物混入、塵埃付着	○	○	○	○	○	点検・清掃
ダクト工事不良	○	○	○			点検・調整
回転方向逆（3相機種）	○					モーター結線の入れ替え
誤結線	○	○		○	○	結線変更

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

• 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
• 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

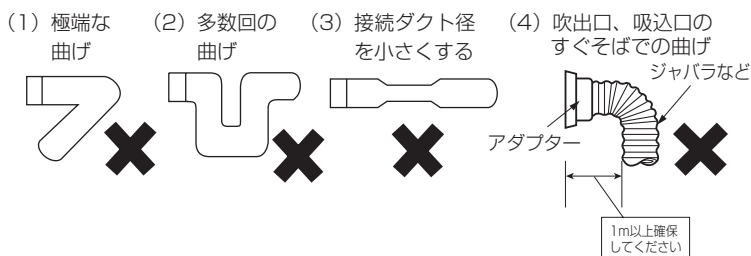
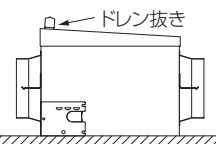
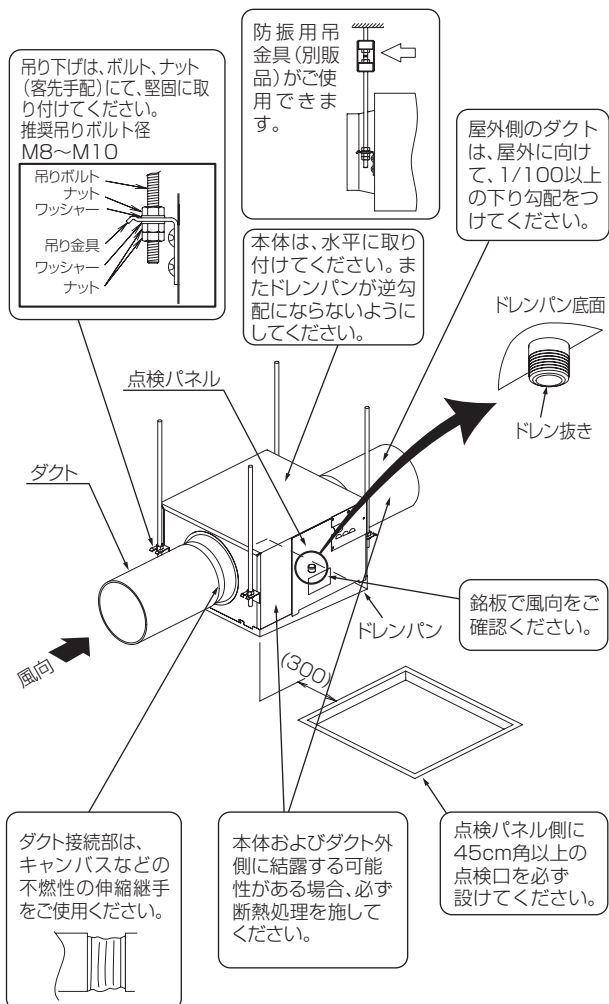
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

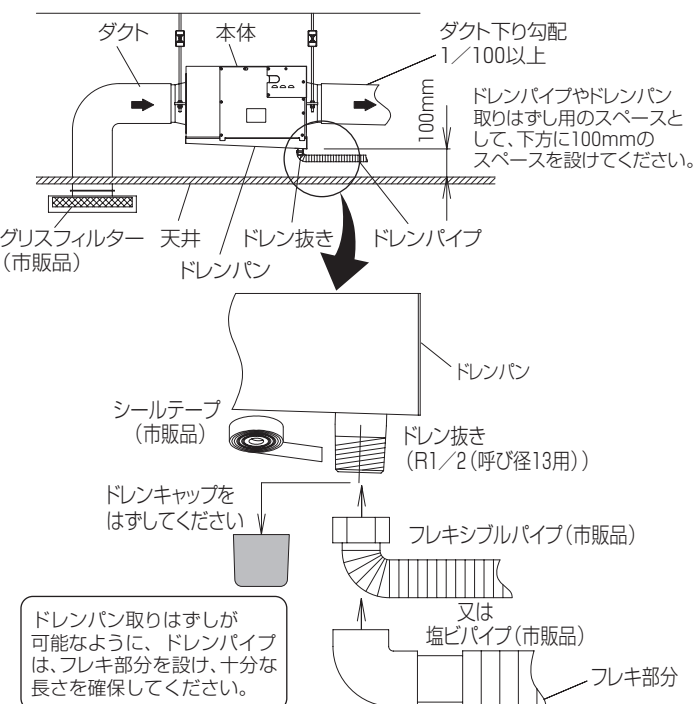
工事説明

1.取り付けの前に

■ご確認ください。　●破損、変形はありませんか。　●ご注文通りの製品ですか。

お願い

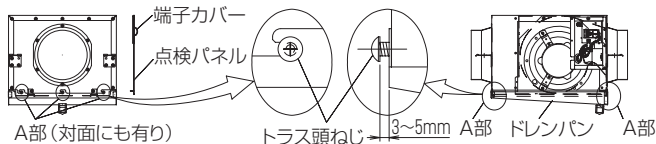
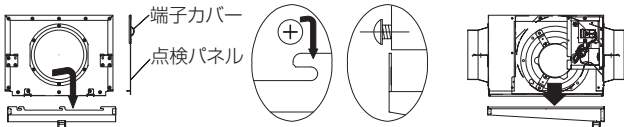
- ● 製品の電源をご確認のうえ、取付工事を行なってください。
- ● 吊りボルトおよび基礎ボルトは十分な強度のものをご使用ください。
- ● 吸込側には、ほこり等が吸い込まれぬようフィルターをご使用することをおすすめします。(フィルター圧損による風量低下にはご注意ください。)
- ● 給気口を設けてください。(効果的な換気ができません)
- ● 煙突排気の燃焼器具を使用される部屋で排気する場合は、十分大きな給気口を別に設けてください。(排気ガスが室内に逆流し一酸化炭素中毒を起こすことがあります。)
- ● 屋外への排気ダクトは、先端に市販のパイプフードを取り付け、1/100以上の下り勾配をつけてください。(雨水が侵入することがあります。)
- ● ダクト施工時は、商品本体に力が加わらないよう、ダクトを天井から吊るしてください。
- ● 次のようなダクト工事はしないでください。
  (1)(2)(3)はダクト抵抗が大きくなり、(4)は気流の乱れ・衝突が発生します。吸込口・吐出口が閉塞に近い状態での運転となりうるので、振動や騒音値が大きくなるばかりではなく、風量の低下やモーターに悪影響を与えます。
  (目安:最大風量の10%未満での運転はさけてください)

- ● 本体アダプター(接続口)とダクトを固定した後は、風漏れのないよう、市販のアルミテープでテーピングしてください。
- ● 運転停止時、羽根車が高速で逆回転しないよう、外風他による過度な風が接続ダクト内を流れないようにしてください。羽根車の破損等の故障の原因となります。
  (必要に応じて電動ダンパー等(市販品(客先手配))を設けてください。)
- ● 屋外(雨のかかる場所)や水のかかる場所、常時蒸気などが発生する場所、腐食ガスの発生するおそれのある場所、化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
- ● ダクト接続や電源接続の際、本体に穴をあけますと本体内部の電装部を破損する恐れがありますのでお避けください。
- ● 取扱空気　0℃〜+80℃・相対湿度100%以下
  周囲空気 −10℃〜+40℃・相対湿度85%以下
  でご使用ください。
- ● プール、温泉での排気、塩素等の薬剤を使用する所では、腐食の可能性が大きくなりますので使用できません。
- ● 油煙の発生する場所には、グリスフィルターを吸込側に取り付けてください。また、グリスフィルターは定期的に清掃を行なってください。
- ● 冬場冷気を室内に給気する場合など、接続ダクト及び製品本体の外部に結露を生じる恐れがある時は、必ず断熱処理を施してください。
- ● 包装箱より取出して置く場合、製品を反対にして置く等、ドレン抜きに製品重量が加わらないようにしてください。

2.取り付け方法

お願い

●ドレンパイプを接続して確実に排出してください。

- ドレンパイプの先は屋外・浴室など排水・排油処理のできる場所へ配管してください。(ドレンパイプ勾配1/100以上)かつドレン抜きからドレンパイプ末端までの高さを50mm以上としてください。
- ドレンパイプはドレン抜きより低い位置に、水や油がたまらないようにはわせてください。
- 市販品のシールテープ等を使って接続部から水や油が漏れないように工事をしてください。
- ドレンパイプに結露や凍結の恐れのある場合は、必ず断熱処理等をしてください。
- ドレンパン自体の方向を180°変更することが可能です。10ページの「ドレンパン取りはずしのしかた」に従ってドレンパンの脱着を行ってください。

■ドレンパン取りはずしのしかた（清掃時等）

・ドレンパンの取りはずしは、① ～ ④ の順に行なってください。

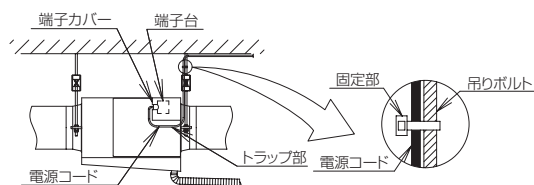
① 端子カバー・点検パネルをはずす。

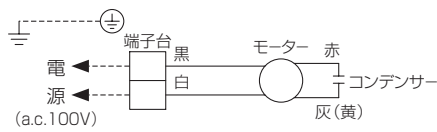
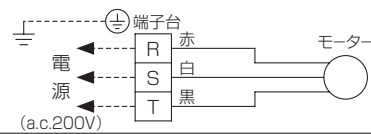
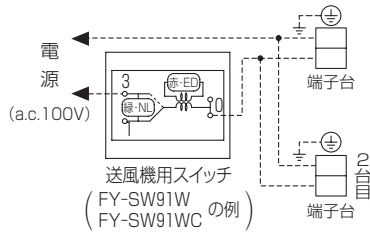
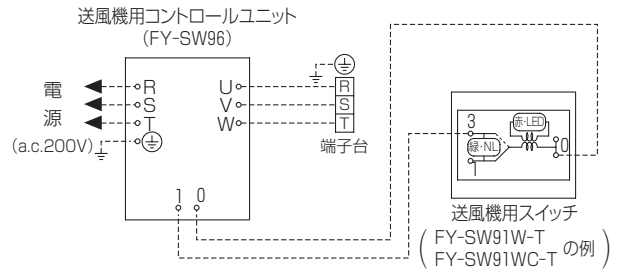
② ドレンパン固定用のトラス頭ねじ（6本）をゆるめる。（A部）

③ ドレンパンを横にずらした後、下に取りはずす。

④ ドレンパン取り付け時は、逆の手順とし、トラス頭ねじを確実に締め付ける。

	ドレンパン取りはずし時は、手袋を着用し、 ドレンパンを落とさないよう保持すること。

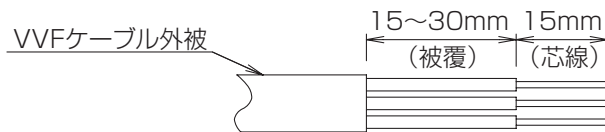
3. 電気結線

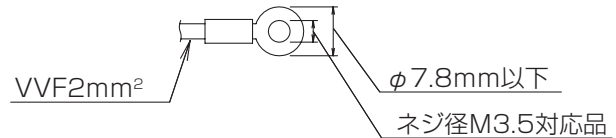
電気工事店様へ

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行なってください。
- D種接地工事を行なってください。（異電圧仕様の機種の接地工事は、各電源電圧に応じた接地工事を行なってください。）
- 過電流が流れたとき、モーター焼損防止のため、必ず機器1台毎に定格に合った過負荷保護装置（モーターブレーカーなどの保護機器）をお取り付けください。
（モーターブレーカー等の選定にあたっては、裏表紙の「仕様」に記載の最大電流の1.2～1.5倍を目安にしてください。）
- 漏電ブレーカーを必ず設置してください。
- 端子カバーを開けて、電源コードを端子カバー内の端子台に結線してください。
その際、電源コードは端子台に張力の加わらないように吊りボルト等に固定してください。
- 電源コードを伝わって、端子台に水が付着するおそれがあるため、電源コードにトラップを設けるなどの処理をしてください。（右図参照）

- 「結線要領図」（11ページ）の破線部を結線願います。
- 本商品のモーター内部にはモーター保護用の温度ヒューズが装着されています。定格と異なった電圧による運転、誤結線での運転等の異常使用でモーター巻線の温度が上昇しつづけた場合に温度ヒューズが作動し、ファンを停止させます。一旦温度ヒューズが作動すると、モーターは復帰しません（回りません）。異常の原因を調査し、正常の使用状態にてモーターの交換をしてください。
- 三相製品はダクト接続する前に必ず回転方向を確認してください。（ファンケーシング側面に回転方向を示しております。）電源接続を間違えますと逆回転します。回転方向が逆の場合は3本の電源配線のうち2本を入れ換えてください。
- 「入」・「切」運転する場合は、送風機用スイッチが必要です。結線および使用方法は送風機用スイッチに付属の取扱説明書を参照してください。
なお、三相製品は送風機用スイッチのみでは制御できません。必ず送風機用コントロールユニットまたは電磁接触器と組み合わせて結線してください。
- インバータ運転を行なう場合は、当社送風機用インバータのご使用をおすすめします。異常な振動、共振、騒音等が発生しないよう、現場施工状態に応じてインバータ側の設定をお願いします。異電圧仕様の機種の場合等、市販品のインバータを使用する際も同じくインバータ側の設定をお願いします。（各インバータの設定については、インバータの取扱説明書をご参照ください。）
- インバータで制御する際に、各商品ごとの定格周波数を上まわる設定では運転しないでください。
- 異電圧仕様（380V以上）の機種でインバータを使用される場合は、サージ抑制フィルターを設置してください。

	モーター破損の恐れあり 定格と異なった電圧による運転、結線図と違った配線による運転、三相と単相をまちがえた運転などをしますと、モーター焼損事故につながりますので、結線は十分ご確認の上行なってください。

●標準電圧仕様、単相異電圧仕様の場合

速結端子に対する電源コード処理

先端を15mm皮ムキした芯線（VVFケーブルφ1.6、φ2）を間違えないように端子台に確実に奥まで差し込みます。

●三相機種異電圧仕様の場合

※三相機種異電圧仕様は全てネジ止め式の端子台となり、端子台形状が異なります。
電源コードは先端に下図の丸形圧着端子を取り付けてご使用ください。（端子かしめ作業時は端子専用工具を使用のこと）
端子台ネジは締め付けトルク1.2N･mで確実に締め付けてください。（締め付け不良は発熱による火災の原因になります。）

4.推奨別販品について

適用機種品番	送風機用制御部材					ファン用部材		
	送風機用スイッチ（速調無）				送風機用コントロールユニット	送風機用インバータ	温度スイッチ	
	金属製プレート	樹脂製プレート	ワイド21 樹脂製プレート	ワイド21 樹脂製プレート（カバー付）			露出形	埋込形
FY-18TCF3	FY-SW90	FY-SW91	FY-SW91W	FY-SW91WC	——	FY-S1N02S	FY-STS06	FY-STKS03
FY-20TCF3								
FY-23TCS3						FY-S1N08S		——
FY-25TCF3							FY-STS10	
FY-25TCX3	FY-SW90-T	FY-SW91-T	FY-SW91W-T	FY-SW91WC-T	FY-SW96	FY-S1N08T	FY-STT10	
FY-28TCX3						FY-S1N15T		

適用機種品番	送風機部材		システム部材			
			パイプフード			
	防振用吊金具	防振用スプリング	丸形 アルミ製	丸形 ステンレス製	深形 アルミ製	深形 ステンレス製
FY-18TCF3	FY-03BGH	FY-02BSH	FY-MCA081	FY-MCX081	FY-MFA083	FY-MFX083
FY-20TCF3						
FY-23TCS3						
FY-25TCF3	FY-06BGH		——	FY-MCX10-SM	——	——
FY-25TCX3						
FY-28TCX3						

仕様

1.特性表

品番	羽根サイズ		電源	極数	公称出力	代表静圧		左記静圧時特性										最大電流		起動電流		質量
								風量		消費電力		騒音(dB)										
												側面		吸込側		吐出側						
	(cm)	(番手)	(相·V)		(W)	(Pa)		(m^3/h)		(W)								(A)		(A)		(kg)
						50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
FY-18TCF3	16	#1	単相100V	4	45	118	168	500	500	73	87	25.0	27.0	44.0	46.0	51.0	53.0	0.95	1.13	1.56	1.48	10.0
FY-20TCF3	18	#1 1/4	単相100V	4	100	111	160	800	800	120	158	29.5	31.5	48.5	50.5	57.5	58.5	1.47	1.89	2.57	2.40	14.5
FY-23TCS3	22	#1 1/2	単相100V	4	200	174	258	1000	1000	205	275	34.0	35.5	51.5	53.0	59.0	62.0	2.77	3.57	5.66	5.34	21.0
FY-25TCF3	22	#1 1/2	単相100V	4	300	180	268	1500	1500	350	452	37.5	38.5	55.0	56.0	64.5	65.5	4.57	5.72	10.94	10.04	24.5
FY-25TCX3	22	#1 1/2	三相200V	4	300	180	268	1500	1500	305	395	38.5	39.5	55.0	56.0	64.5	66.0	1.53	1.90	6.96	6.80	24.5
FY-28TCX3	25	#1 3/4	三相200V	4	550	199	320	2100	2100	560	738	40.0	42.0	58.0	60.0	66.5	67.5	2.46	3.34	10.90	10.22	29.5

注記）
1. 風量はチャンバー法により測定した値です。
2. 騒音は代表静圧時の値で測定位置は以下に示す通りです。（本体の吸込吐出両側にダクト接続時）
   側面 ――― 本体側面 1.5mでの騒音値(吸込側·吐出側騒音含まず)
   吸込側 ―― 吸込側 1.5mでの騒音値(側面·吐出側騒音含まず)
   吐出側 ―― 吐出側斜め45° 1.5mでの騒音値(側面·吸込側騒音含まず)
   なお、1mの位置での騒音値は上記数値に 2dBを加えてください。
3. 最大電流は最大風量時の測定値です。
4. 異電圧仕様は、電流等の特性が異なりますので、銘板をご覧ください。
5. 上記仕様は、常温（20℃）での値です。

2.使用環境条件

●取扱空気　　0℃～＋80℃・相対湿度100%以下
　周囲空気　－10℃～＋40℃・相対湿度85%以下
　でご使用ください。
●屋外（雨のかかる場所）や水のかかる場所、常時蒸気などが発生する場所、腐食ガスの発生するおそれのある場所、化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
●プール、温泉での排気、塩素等の薬剤を使用する所では、腐食の可能性が大きくなりますので使用できません。

愛情点検　長年ご使用の厨房形キャビネットファンの点検を!

こんな症状はありませんか

・スイッチを入れても運転しない
・スイッチの動作が不確実
・運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。
・その他の異常や故障がある。

▶ このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	
	販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番
電話(0568)81−1511

Printed in China
18TCF30750A
K0409-1089